

令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立川永小学校
作成日	令和 7年 3月 7日

1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもち、主体的にたくましく生きる子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 毎日の勉強が分かる(児童90%台) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる(児童90%以上) いじめの解消率(100%) いじめアンケート、情報モラル授業を数回実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ごはんを食べた(100%) 児童のアンケートで「体育の授業が楽しい・休憩時間は元気に外遊びができた」と答える子を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動や子供の様子がよく伝わった(保護者85%以上) 学期に1回以上地域の人材を活用する
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の確かな定着は今後の学びにおいて極めて重要である。主体的に学ぶことが、学ぶことの楽しさを知るうえで大切である。 「確かな学力の向上」には基礎基本の確かな定着が大切であり目標として最適である。 「家庭学習の定着」や「読書活動の推進」は学力や想像力を豊かにし目標として評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育等は大切であり、評価出来る。高学年をリーダーとした学校づくりは、リーダーシップや人間関係も学ぶ事ができ良いと思う。 「豊かな心の育成」は人間として最も大切であり、「道徳 人権教育の充実」は重点目標として最適である。 いじめの未然防止、早期発見につとめ、いじめのない学校は素晴らしいと考えます。 登下校の際にもきちんと挨拶のできる子供さんが非常に多いことは感心します。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上や基本的生活習慣の確立は児童期においてとても重要である。 「健やかな体の育成」は人間形成、学習、社会生活にとって最も大切であり「基本的生活習慣の確立」は、目標として最適である。 食事は健康の基本であり、大変好きです。 運動場で遊ぶ子供の姿をよく見ることが、体力づくりには最適と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材及び資源の活用によって、学びの幅が広がるように思うので評価できる。 学校・家庭・地域の連携は「地域とともにある学校」に必要であり、地域の人材及び資源の活用は学校だけでなく地域の活性にもつながり評価できる。 地域の歴史や施設を訪れ実際に聞いて学ぶ体験は非常に心に残るし役立つと思います。実際の子どもの反応も良かったので、今後できる限り機会を増やせてもらえたらありがたいです。
	<p>各項目において、指標から考えられる重点目標は妥当であると考えますが、目標倒れにならないように</p> <ol style="list-style-type: none"> ①年度初めにスクールプランを全教職員で共通理解する。 ②各担任等に具体的な取組方法を考えさせ、職員会議等で計画を発表させる。 ③学期ごとに取組の振り返りを行い、次の学期での計画を発表させる。 ④3学期末には、一年間の取組結果を発表させる。 <p>次年度に学級担任が変わっても継続した取組ができるように、教職員が共通理解できるようにしていく。</p>			
取組状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観を拝見するに、主体的に勉強したことを発表するクラスが多く、とても楽しそうである。先生方も児童の未来の為に、チームワークよく取り組んでいる。 重点目標の一つである「家庭学習の定着」を進めるために、どのように進めようとしてきたのか、各々の学校における取り組みではなく、学校としてどのように進めていくべきなのかを、全教職員で話し合っておく必要がある。 読書活動を推進するために「図書室の活性化」が大切だと思います。 読書の時間(タイム)は大変良いと思います。(昼休みの続き) 基礎基本の定着を重視しどの子にも分かる授業を目指すことは子供の学力向上にとって最も必要なことと考えます。 自分の考えを述べ、それを基に話し合う場を工夫して行っている。また、分かりやすい授業を心がけているように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶を自分から出来る児童が多いので、豊かな心の育成に取り組んでいる成果だと思う。六年生を送る会では、それぞれの学年が様々な工夫をした演出で、六年生に感謝のメッセージを伝えていた。六年生もそれに応えて、在校生に向けて素晴らしい歌とメッセージを返していた。これも学年を越えた取り組みの成果であると思う。 朝の挨拶が、できる子とできない子の差がある。今後も取り組みを続けてほしい。 登校時に「行ってらっしゃい」と声をかけるように努めているが、「いってきます」と答えられる子が多くなってきた。 いじめを解決解決するためにどんな資料で授業をしたのか具体的に知りたいと思います。その後子供たちはどう変わったか具体的に知りたいと思います。 「豊かな心の育成」には教科書の「心のとびら」を活用し道徳の充実を図り、いじめ等のない学校を作っていただきたい。 挨拶ができる児童が一人で多く育ってほしい。 いじめアンケートは良いと感じる。子どもの自殺が年々増加している中、相談したり助けを求めることが恥ずかしいことではなくもっと気軽にできるようになってほしいと思う。(大人がそう言う環境をつくる) 	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間に「鬼ごっこ」などは体力づくりに大きく役立つと思う。休み時間の外遊びの推進は良い取り組みである。 安全教育の面では、下校時に用水路の上を跳んだり、遠回りをして下校している子を見かけることがある。 体力向上の推進には「体育の授業の充実をはかり」、「早寝早起き朝ごはん」の推奨は、取組として適切と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流について、校長をはじめ学校全体で積極的に取り組まれている。 地域の行事に、校長先生や学級担任の先生方が、忙しい中参加してくれることがあったので感謝しています。今度もよろしく願いいたします。 学校だより、学級だより、保健だより、ホームページ等で学校の情報を定期的に発信することは児童や学校の様子が良く分かり積極的に行ってほしい。 学校だよりなどで理解はできていますが、連携は良いと思いますが、もっと地域の人材や資源を活用していただけたらと考えます。

<p>取組の適切さの検証結果に対する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果や学力テストの結果から、学力の向上に関して、一定の成果があったものと思う。児童の潜在能力を引き出すために、更なる改善、向上を期待する。 授業参観では、教員によるICTの活用が積極的に行われているように思う。 児童の学校評価アンケートにおいて、「毎日の勉強がわかる」が、「とてもそう思う」と答えた子の割合が他の項目より少ない。子どもたちが自信を持って「とてもそう思う」と答えるような継続的な取組を期待している。 「毎日の勉強がわかる」89%ありますが、残りの11%の児童への具体的な指導の方法をどのように考えるか必要であると思います。 全国学力・学習状況調査結果で算数の結果は、全国・県・市平均を5ポイント上回る正答率となったことは、取組の適切さを示していると考えます。 しかし、児童に比べて保護者の評価は低い。進んで学習や読書に取り組むことにつながっていないことなのか。 現存の状況は続けてほしいと思います。一時的な結果を気にせずに。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも子どもたちの素直な心、純粋で美しい心を大切に、豊かに育てていきたい。子どもは親が言ったことはしないが、やったことは真似をすると言われるが、周りの大人が手本になるよう心がけたい。 授業参観時に、発表の音が小さい子に対して、先生も子どもも、その子を認め、発表している内容を聞き取ろうとする姿勢が学級全体に感じられた。一人一人を大切に学級経営がなされているようで、大変ほえましく感じた。 学校評価アンケートの①「わたしは学校が楽しい」と⑥「わたしは命の大切さや社会の決まりについて学んでいる」の項目で「思わない」の回答がなかったことは取組が適切であると考えます。 挨拶運動の成果が上がってきている。しかし他地区に比べて、声が小さいように感じます。 いじめに関してとも繋がると思うが世の中の多様性が高まってきた。昨今、自分の考えも良い、自分とは異なる考えも良い(認められる)というような受け取り方も必要になってくると感じる。自分の価値観も相手の価値観も大切にできると言ったような学習がより大切になってくると感じる。(自分とは違った意見や考えの受容) 	<ul style="list-style-type: none"> 「体が資本」という言葉のとおり、何をするにも健康が大切なので、子供たちの健康を第一にご指導を願う。 以前までは、遅刻するだろうと感じる時刻に登校している子(今も在学中)が見かけられたが、最近は登校が遅い子を見かけることがなくなった。登校(起床時刻)は、家庭生活スタイルによるところが大きいと思うが、今後も保護者への生活習慣の重要性を呼びかけ続けてほしい。 児童たちは元気に外遊びを行い体育の時間でも体力づくりに努めていることが良いことと考えます。 性教育を早めに取り入れる重要性を感じる市Pの浜野先生の講演会は本当に大切な命のお話を子供向けに各学校で開催してくださっている。ようなので、川永小でもぜひお願いしたい。SNSの普及で早い段階で誤った性の情報に触れる年齢が若年化してきているので子供たちの健やかな心身の育成のためにも非常に重要であると感じます。 身長や体重は平均的にどうなのか？同学年で比べ判断できるデータ等あればよいのですが？ 	<ul style="list-style-type: none"> 町探検や秋祭り、戦争体験の話など様々に地域と交流する場があった。地域のイベント「竹燈夜」等では全校生徒が参加し、地域に多大に貢献した。 ホームページの更新が、2024年4月までのように思う。子どもたちの学校生活の様子は、学校だけでなくホームページも見ている人が多いと思うので、最低でも月に一回の更新を希望する。(今年度は、管理職も大変な一年であったことは理解しているが、よろしくお願いたします。) 地域行事に参加した子が、一生懸命に準備等を手伝っている姿を見かけることがある。 学校だより、学級だより、保健だより、ホームページ等を通して学校の情報を定期的に発信したり、授業や行事等を積極的に公開することは保護者や地域にとっても安心材料となり良い事と思います。 地域の人材を活用するというのが、どのような場面でどんな人材を求めているかわからない。
<p>次年度に向けての改善方法に対する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習などで、互いに教え合う勉強も取り入れると良いと思う。教えることで理解を深めることがよくあるからである。 ICT等の活用における児童へのデメリットも叫ばれるようになってきている昨今、どんな場面で活用していくことが妥当なのかを、教員間で話し合っておく必要がある。デメリットに関しては、学校内での活用時間のみならず、家庭においてもパソコン・スマホ・ゲーム等を使っている子が多いと思うので、家庭での時間がどのくらいになっているのかも把握しておく必要もあると思う。 授業の中で自分の考えを書き、それを出し合い、話し合っで深めていく授業をさらに進め、基礎基本を大切に、学力向上をめざしていただきたい。 学習意欲の向上に対する取組状況などを話し合う場を設けられたい。 先生方の業務が多い中で先生方の負担を少しでも軽くし、精神的にゆとりを持った状態で子どもたちと接するようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 川辺地区では、年に一度、地区の公園の草刈り等を子供会の児童にお願いしているが、住んでいる地区ごとに、学年を越えて清掃活動をするなどボランティア活動をするのもよいと思う。 人権月間における、学校全体での人権教育や道徳教育の取り組みを行っていくのはどうだろうか。例えば、授業参観で各学級が一斉に行うなど。 「学校は楽しい」と回答する児童をもっと増やせるように、今以上にいじめ防止学力向上に努めていただきたい。 挨拶運動の強化週間などさらなる運動を進められたい。 	<ul style="list-style-type: none"> かつて行われていたマラソン大会のような行事は、今振り返ってみると体力づくりに役立っていたように思う。復活は難しいでしょうか。 児童の健全育成のために、保護者に向けて保健だよりの活用を今まで通りに続けるとともに、ホームページを活用して現状や改善を呼びかけていくことも必要であると思う。 児童の体力向上、基本的な生活習慣の確立、安全教育の充実等については必要不可欠と考えますので、今以上に目的を定めて行っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度は学校創立150周年なので、これまで以上に地域とともに取り組んでいきたい。 地域との交流が、コロナ前までより減っているように感じるので、更なる取り組みを期待している。(地域人材の活用等) 図書ボランティアの活動の復活、「読み聞かせ」「図書の整理」など必要だと思います。 先生の負担が増えない程度で学校行事に地域の人々が参加できる機会が増えれば、学校・地域共に活性化できると思います。 大きな道路ができたことで便利になった反面、信号を回避しようとすごいスピードで住宅街を走行する車両をよく見かけます。何かあってからでは遅いので警察等とも連携しながら子供たちの安全を守っていかれたらと思います。
<p>3 その他のご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 川永小学校には同窓会組織はないが、次年度は学校の創立150周年であるので、地域の内外に住む過去の卒業生と学校が繋がる良き機会になればよいと思う。 学校評価アンケート(保護者)の項目8が、他の項目より評価が低くなっている。この項目は、学校のみでの取り組みで改善されるものではないことは理解できるが、常に教育委員会に改善を要望していく必要がある。学校内の施設等においては学校運営協議会等を、地域内の通学路等については連合自治会等を使ってくれれば協力できると思う。 今後、益々地域と学校の連携が必要になると思います。地域の力を上手に活用する工夫をするのに賛成です。 「いじめが100%解消している」校長先生初め、先生方のご指導に感謝します。 社会見学、加太合宿、田植え、稲刈り、赤い羽根募金、万博見学等の校外活動は先生方の負担も大変ですが、子供たちの良い思い出となることでしょう。 プリントなどの電子化は大変助かると思いました。行事の写真も白黒印刷だと全くわからなかったのでカラーでWeb上だと見やすいです。 共働き世帯の増加、子育てと介護の兼任など今の子育て世代は本当に忙しく時間のない方が多いです。自分の子供とのコミュニケーションも満足に取れる時間が少ない中、なかなか地域や学校のことで手が回らない方も多く感じます。その中でどれだけ関わっていただける(いただきやすい状況を作っていくか)が今後の課題と感じます。 今年度は150周年の年ですが、イベントの主役は、子供たちにと願います。 				